

日本比較内分泌学会会誌「比較内分泌学」投稿要領

2025年4月一部改訂

投稿に際しての要領、注意点が記載されています。投稿前に必ずお読みください。

1. 本誌は、日本比較内分泌学会が発行するオンラインの会誌です。寄せられた記事は随時オンラインで会員へ向けて公開すると共に、年2回（初夏と年末）にはPDF冊子スタイルでJ-STAGEよりの公開も行います。記事は、総説、博士論文レビュー、原著論文紹介、テクニカルノート、実験動物紹介、学会主催記、学会印象記、初めての論文、エッセイで構成されます。
2. 研究成果発表のための原著、短報は原則として掲載しません。General and Comparative Endocrinology誌などの他の専門誌へ投稿して下さい。
3. 投稿原稿の掲載については、日本比較内分泌学会 学術誌編集委員会で査読し、決定します。
4. 複写利用に関して：本誌掲載記事を複写したい場合は、公益社団法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外の方は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作権は、日本比較内分泌学会に帰属します。ただし、自身の著作を使用する場合は、出典を明示した上で、本学会に断りなく自由に使用できます。なお、著作権の転載・翻訳のような複写以外の許諾は直接本学会へ連絡して下さい。
 - (ア)一般社団法人 学術著作権協会 (JAC)
 1. 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41
 2. Web: www.jaacc.jp
 - (イ) アメリカ合衆国における複写については以下に連絡して下さい。
 1. Copyright Clearance Center Inc.
 2. 222 Rosewood Drive, Danvers MA 01923, USA
 3. Tel: +1-(978)750-8400 Fax: +1-(978)750-4744 Web: www.copyright.com
5. AI利用に関して：日本比較内分泌学会では、AI利用（受託著作物の全部又は一部をAIによる機械学習の用に供する目的で複製し、若しくはAIによる機械学習の用に供し、又は機械学習したAIにより生成物を生成すること）に係る著作権を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、上記、学術著作権協会にお問い合わせください。
6. 寄稿や記事の掲載において、掲載料等の著者負担はありません。
7. 学術誌編集委員からの依頼原稿は、依頼日から1から2か月後を締切とします。
8. 原稿の送り先
 - ・ 学術誌編集委員からの依頼原稿は、当該委員へE-mailでお送りください。
 - ・ その他の掲載希望の原稿は、編集委員長(下記)へE-mailでお送りください。
 - ・ 〒- 739-8521 広島県東広島市鏡山 1-7-1
 - ・ 広島大学大学院統合生命科学研究科・総合科学部内 C320 小林勇喜

E-mail: ykoba@hiroshima-u.ac.jp Tel: 082-424-6403
9. 著者によるゲラの校正は1回のみ行います。校正時には、校正業者から著者宛にE-mailで初校が送られますので、校正してご自身で業者までご返送下さい。

投稿に際しては、次頁以降の執筆要領に従ってください。

日本比較内分泌学会会誌「比較内分泌学」執筆要領

2025年4月一部改訂

1. 原稿は、すべて Word を使用する。フォントサイズは 12 ポイントで、タイトル、サブタイトルは游ゴシック、本文は游明朝、英数字は Times New Roman を使用する。
2. 図はカラーを推奨する。
3. メールアドレスと電話番号を投稿時に学術誌編集委員まで知らせる。
4. **原稿の書き方**は以下のとおりとする。
 - ① 最初の頁の上段に、表題と著者名と所属、E-mail を書く。
 - ② 本文に節を設ける場合、游ゴシック太字で **1. ○○**、**2. ○○**、**3. ○○**、**4. ○○** などをつけて節を示す。
 - ③ 文字はなるべく常用漢字と新仮名使いとする。
 - ④ 専門用語、物質名などは、できる限り日本語で表し、必要に応じてその原語を () で示す。ただし、略号についてはそのまま用いる。(例) アルドステロン (Ald)、cAMP
 - ⑤ 生物名は、片仮名書きの和名で表し、必要に応じて初出時に学名を () で示す。学名は斜体 (Times New Roman イタリック) とする。(例) ウシガエル (*Rana catesbeiana*)
 - ⑥ 人名は、姓の原綴りで示す。(例) 小林らは; Bern らは
 - ⑦ 原則として国際単位 (SI) 記号、化学記号、数学記号は立体、量記号は斜体とする。(例) *h* cm、A、*x* g、H₂O、*sin x*
 - ⑧ 数字は原則としてアラビア数字 (半角) を用いる。ただし、漢字と結合して名称を表すものは漢字とする。(例) 1 つ、2~3 時間、50 個、数十個、一例
 - ⑨ 文献の記載方法
参考文献は本文の出現順に並べ、1 から順に通し番号をつけて文末にまとめる。本文中での引用箇所には、通し番号を英数字と角括弧で示す。
(例) (連続の場合) 小林らによると [1-4]、(飛んでいる場合) …である [5,8,10]。
 - ⑩ 文末の参考文献の記載は、次のようにする。
著者が 20 名より多いときは、21 人目以降は“ら”あるいは“*et al.*”とする。
[雑誌] 通し番号) 著者名, タイトル, 雑誌名(省略形), 巻, ページ, 発行年, DOI.
[書籍] 通し番号) 著者名, 書名, 出版社, ページ, 発行年.
 - 1) Bern AH, Gorbman A, Kobayashi H, Tsutsui K, Takei Y. The Japanese society for comparative endocrinology. *Gen Comp Endocrinol*, 110, 125-138 (2007).
<https://doi.org/XX.XXX/JSCE.XXXX>
 - 2) Kawashima S, *Comparative Endocrinology, Zoophysiology*, vol. 1. Springer-Verlag, Berlin, pp. 10-25 (1993).
 - 3) 川島誠一郎, 内分泌学, 朝倉書店, pp. 6-7 (1993).
 - ⑪ 表は簡潔な標題と必要な説明をつけて、本文とは別に作成する。
 - ⑫ 図は 300dpi 以上~1,200dpi 以下で作成し、ファイルサイズは 1 つの図につき 3 MB 以下とする。図のフォーマットは tiff、pdf、ppt、gif、jpg、png 形式とする。
 - ⑬ 図には必ず簡潔な標題をつける。図の標題と説明は本文末にまとめて書く。
 - ⑭ 図および表の表示は、出現順に図 1、図 2 あるいは表 1、表 2 のように通し番号で行う。
 - ⑮ 図および表を文献から引用した場合は、引用を明記するとともに、引用の許可が必要な場合には、著者の責任で出版会社から許可 (copyright) を取っておく。

4. **原稿の種類**は以下のものがある。

表紙絵) 当該号の記事中の写真・模式図などから学術誌編集委員が選定して掲載する。

総説) 比較内分泌学あるいは関連分野における最近の目立った研究成果や学会で注目された記事を掲載する。2,000～7,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

博士論文レビュー) 学位取得後間もない研究者が博士論文の内容を要約したものを掲載する。2,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

原著論文紹介) 最新の研究成果を公表した原著論文の内容を要約したものを掲載する。2,000～3,000 字程度、図表は 3 枚程度とする。

テクニカルノート) 会員に知って欲しい、あるいは役立つと思われる情報、実験方法、教材あるいは意見の提供を掲載する。3,000～8,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

実験動物紹介) 実験に用いる動物の入手法、飼育法、学術的な特徴などを掲載する。1,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

学会主催記) 国内外の学術集会を主催した紹介記事を掲載する。2,000～5,000 字程度、図表は 3～5 枚程度とする。

学会印象記) 国内外の学術集会の紹介記事を掲載する。教員、ポスドク、大学院生や学部生などの広く会員からの投稿を歓迎する。1,000～2,000 字程度、写真 1～2 枚程度とする。

初めての論文) これから論文を執筆しようとする若い研究者に向けて、最初にアクセプトされた論文についての苦労話やエピソードなどを掲載する。1,000～5,000 字程度、写真は 2 枚程度とする。

エッセイ) 研究活動の思い出や留学などで滞在した研究室、あるいは海外調査や見聞の紹介記事を掲載する。できれば写真を添付する。

*博士論文レビューと原著論文紹介に関しては、若手研究者向けの短めの原稿および補助があります。詳細は、次ページをご覧ください。

若手研究者奨励事業-「比較内分泌学」への投稿支援

若手に、筆頭著者として執筆した原著論文の紹介あるいは自身の博士論文レビューの「比較内分泌学」への投稿を奨励する。

- ・ 審査有無：無し
- ・ 申請者は投稿時および奨励される時点において、比較内分泌学会の学生会員あるいは一般会員である必要がある。
- ・ 学位取得者に関しては、投稿時点において学位取得後 5 年以内である必要がある。
- ・ 申請は年 2 回を上限とする（原著+原著あるいは原著+博士論文; 1-12 月でカウント）。
- ・ 共同筆頭著者の場合は、原則として氏名が先頭にある会員を対象とする。
- ・ 投稿は出版日から 3 カ月以内が望ましい。
- ・ ポイント制にし、1 投稿 1 点、5 ポイントで学会より記念品贈呈（賞では無い）。

(1)原著論文紹介

- ・ 金額：アマゾンギフト券 3,000 円分/1 報
- ・ グラフィックアブストラクト 1 枚込みで 1 ページまでの原著論文紹介：短報 ver 新設
若手奨励応募用の短報 ver の原著論文紹介は、1 ページにおさまるようにタイトルから引用まで 1300~1500 文字とグラフィックアブストラクト 1 枚までとする。

(2)博士論文レビュー

- ・ 金額：アマゾンギフト券 3,000 円分/1 報

【お願い】

多くの若手会員からの投稿を期待しております。どなたが対象なのかは編集委員で把握するのに限界があります。是非、ご本人、条件が当てはまる方をご存じの方は積極的に学術誌編集委員（<https://jsce1975.jp/officer.html> 委員長：小林勇喜 ykoba@hiroshima-u.ac.jp）までお声がけください。自薦・他薦問いません。